

インフルエンザやノロウイルスに注意しましょう

インフルエンザ

インフルエンザの流行シーズンは12月から3月ごろで、1月から2月ごろに流行のピークを迎えます。手洗いや咳エチケットなど、一人一人が「かからない」「うつさない」対策を行いましょう。

インフルエンザの予防接種

発熱などの「発病」を抑える効果のほか、肺炎などの「重症化」を予防する効果も認められています。65歳以上の人は一部公費での接種が可能です。詳細は保健福祉局健康危機管理課 ☎582・2090へ。市のホームページからもご覧になれます。



▲高齢者の予防接種はコチラから

「インフルエンザかな?」と思ったら

- 発熱などの症状があるときは、かかりつけ医にご相談ください。
- 受診先が見つからない場合は、福岡県救急医療電話相談 ☎7119 (24時間対応)へ。

※医療機関は、電話をしてから受診するようにしてください。

化学物質過敏症を知っていますか?

化学物質過敏症とは

体内に一定量の化学物質が取り込まれ、体が一度過敏症になってしまうと、ごく微量の化学物質でも反応し、さまざまな症状が現れてしまうことを言います。発症の仕組みについては分かっていないことが多く、治療法もまだ確立されていません。

香りのエチケット

近年、香水・芳香剤・柔軟剤など、香り成分を含む製品が多く販売されています。これらの香料に敏感に反応して、せきや吐き気、めまいなどの症状が出る人もいます。使用する際は、使用量が過度にならないように心掛けましょう。

ノロウイルス

保健所保健企画課 ☎522・5721

ノロウイルスによる感染性胃腸炎や食中毒は、特に冬季に流行します。感染力が強いため、予防対策を徹底しましょう。

- 調理時や食事前、トイレ後はよく手を洗い、下痢やおう吐などの症状がある場合は、食品を扱う作業はやめましょう。
- 二枚貝の生食は避け、中心部まで十分加熱して食べるようにしましょう。

● ノロウイルスに触れた場所を消毒する際は、マスクと手袋を着用し、次亜塩素酸ナトリウム(漂白剤)を水で薄めた消毒薬などで拭き取ります。汚物はビニール袋に密閉して廃棄しましょう。



▲消毒方法の詳細はコチラから

治療法は?

- 効果のある抗ウイルス剤がないため、症状に応じて治療が行われます。
- 下痢やおう吐による脱水症状を防ぐため、こまめに水分補給をしましょう。脱水症状がひどい場合には病院を受診しましょう。



▲詳細はコチラから

担保健福祉局保健衛生課 ☎582・2435

保健所東部生活衛生課 (門司区・小倉北区・小倉南区) ☎522・8728

保健所西部生活衛生課 (若松区・八幡東区・八幡西区・戸畑区) ☎622・4614

市政フラッシュ

このコーナーでは、北九州市の最新の取り組みや話題の出来事などをご紹介します。

北九州市・下関市 両市長会談が開催されました

10月17日に前田晋太郎・下関市長と武内市長の会談が行われ、新たな4つの事業について連携して実施することを発表しました。「関門連携」の強化によって、交流人口の増加や地域のブランド化を図ります。



ふるさと納税の共通返礼品「かんもんPAY」

11月から両市初となる「県境を越えた共通返礼品」として、電子クーポン「かんもんPAY」の受け付けを開始。門司港・唐戸エリアの加盟店で使用することができ、1~10万円の寄付に対して、その3割分に10%を上乗せした電子マネーが付与されます(寄付額が1万円の場合、3300円が使用可能)。※両市民は返礼品の対象外です。

2 フライ&クルーズの実証運航

外国人観光客をはじめとした北九州空港利用客向けに、北九州空港一門司港一唐戸エリアを結ぶ船の実証運航を3月に行い、利便性や効果について検証します。

3 「関門二極踏破証明書」の発行

門司区和布刈地区に設置予定の「九州最北端」の記念碑と、下関市毘沙ノ鼻に設置されている「本州最西端」の記念碑の両方を訪れた人に、「関門二極踏破証明書」を発行します(スタート時期は未定)。

4 関門連携市民野球大会の実施

1961年を最後に開催されていなかった下関市と門司区(旧門司市)の野球大会を3月に復活開催します。門司区役所で保管されていた当時の優勝盾をかけて、小学生・中学生・社会人の代表チームが対戦し、関門エリアの一層の交流活性化を図ります。



▲1961年当時の優勝盾を抱える武内市長と前田市長

政策局政策課 ☎582・2156

